

野田首相のＴＰＰ交渉への参加表明について

野田首相がＴＰＰ交渉への参加を表明されたことを歓迎したい。むしろ遅過ぎるくらいである。

ＴＰＰは単に９カ国の枠組みに止まらず、ＦＴＡＡＰ（アジア太平洋自由貿易圏）をはじめ、新たな世界の経済制度を構築していくプロセスとなる極めて重要な協定である。資源に乏しく世界に市場を求めなければならない日本が、その作業に積極的に加わることは、自由主義経済に与する経済大国としての責務だろう。

交渉に際しては、まずＴＰＰの利点や農業・医療など懸念される事項、あるいは誤解されている事項や対応を国民に明らかにした上で、真に公正な市場を作り上げるために日本がリーダーシップを発揮することを期待したい。

いずれにせよ日本はＴＰＰをはじめとする海外経済連携協定によって、どのように地域の自律的な成長や雇用の創出を図るのか、将来を見据えた国や地域のビジョンを明確に示すことが必要である。

以上

平成２３年１１月１１日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄